

ブイゲット®パラタス™L粒剤

| | |
|---|-------|
| ■種類名：スピネトラム・トリフルメゾピリム・チアジニル粒剤 | |
| ■有効成分：スピネトラム | 0.75% |
| トリフルメゾピリム | 0.75% |
| チアジニル | 6.0% |
| ■化管法指定物質：チアジニル〔第1種〕 | 6.0% |
| ®は日本農業株式会社の登録商標 TM コルテバ・アグリサイエンスならびにその関連会社商標 | |

| |
|------------------------------|
| ■登録番号：第24715号(日本農薬登録) |
| ■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称) |
| ■登録初年：2023.01.25 |
| ■性状：類白色～淡黄緑色細粒 |
| ■有効年限：3年 |
| ■包装：1kg×12袋、10kg×1袋 |

【特長】

- 育苗箱処理でもち病と水稻主要害虫（イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、ウンカ類、コブノメイガなど）を同時防除できる。
- ブイゲットは、稲をもち病にかかり難くする作用性（病害防除機能の増強）を有し、安定した効果を示す。また、耐性菌出現リスクが低く、既存薬剤に対する耐性菌にも有効。
- スピネトラムは、コブノメイガに対して、高い防除効果と優れた効果持続性を示す。
- トリフルメゾピリムは、トビロウンカ等のウンカ類に対して極めて高い防除効果を示す。また、既存薬剤に対して抵抗性を示すウンカ類に対しても有効。

【適用内容】（2024年12月末日現在）

| 作物名 | 適用病害虫名 | 使用量 | 使用時期 | 本剤の使用回数 | 使用方法 |
|------------|--|---|--------------|---------|--------------------------------|
| 稲 (箱育苗) | いもち病 コブノメイガ ウンカ類 | 育苗箱(30×60×3cm、 使用土壌約5㍓) 1箱当り50g | 緑化期～ 移植当日 | 1回 | 本剤の所定量を 育苗箱の上から 均一に散布する。 |
| | イネミズゾウムシ幼虫 イネドロオイムシ ツマグロヨコバイ | | | | |
| | いもち病 コブノメイガ ウンカ類 イネミズゾウムシ幼虫 イネドロオイムシ ツマグロヨコバイ | 高密度には種する場合は 1kg/10a (育苗箱(30×60×3cm、 使用土壌約5㍓) 1箱当り50～100g) | 移植当日 | | |

| スピネトラムを含む 農薬の総使用回数 | トリフルメゾピリムを含む 農薬の総使用回数 | チアジニルを含む 農薬の総使用回数 |
|--------------------------------------|--------------------------|---|
| 3回以内 (移植時までの処理は1回以内、 本田では2回以内) | 1回 | 3回以内 (移植時までの処理は1回以内、 本田での散布は2回以内) |

【効果・薬害等の注意】

- 使用量に合わせ秤量し、使い切ること。
- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機で移植すること。
- 稲の葉が濡れている場合には、散布前に葉に付いている露を払い落とすしてから薬剤を散布すること。
- 軟弱徒長苗、むれ苗又は苗の生育が不良な場合には、薬害を生じるおそれがあるので注意すること。
- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5㍓)1箱当りに乾糞として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整すること。
- 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じるおそれがあるので、代かきはていねいに行い、移植後に田面が露出しないよう注意すること。
- きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- ❖ 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- ❖ 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- ❖ 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- ❖ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- ❖ 魚毒性等：水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないこと。
水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意すること。
散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。